

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域固有の歴史的景観と魅力を活かしたまちづくり（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②景観形成を図るべき地点として位置付けられている。（竹田・長湯 景観形成地区）	○
I. 目標の妥当性	
③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性	
④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（まちなか居住の推進、良好な住環境の整備、地域の特色ある街並みの整備）	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性	
②計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○
III. 計画の実現可能性	
③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
③計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○